

第2回 泉中学校再編検討委員会 会議録

日時	平成27年10月27日（火）19時00分～20時45分
場所	泉市民館
出席者	委員（18名） 山内六男、鈴木和朗、伊藤正幸、渡辺好崇、花井俊郎、廣中一郎、埴原正男、 天野英夫、樺山節生、千賀修治郎、渡会真由美、花井 充、山内正久、清水千里、 橋爪香奈子、中村八重美、彦坂登一郎、山本忠史 事務局（7名） 花井教育長、前田教育部長、鈴木教育総務課長、三竹教育企画室長、鈴木学校教育課 長、鈴木渥美支所地域課長、清水教育企画室主任
欠席者	太田完一委員、神谷佳予子委員
傍聴者	2名
事務局	開会
委員長	あいさつ こんばんは。お忙しい中、また、お仕事帰りでお疲れのところ御苦労さまです。 先日の土曜日の市民館祭りでは、一日中立ちっぱなしで頑張っていたいただき、大盛況 でみんなの反響は非常に大きいものがありました。重ねて御礼を申し上げます。 さて、第2回目の泉中学校再編検討委員会です。せんだって学校の見学会、授業の 参観等をしてきましたので、その結果を踏まえて皆さんの忌憚のない意見をいただき たいと思います。よろしくお願ひします。 本日は、教育長が出席されていますので、ごあいさつをお願いします。
教育長	あいさつ
委員長	早速、第2回目泉中学校再編検討委員会を始めたいと思います。 協議事項1 泉中学校の再編について、事務局の説明をお願いします。
事務局	（資料1により説明） ・これまでの取組状況（泉中学校の再編について、伊良湖岬中学校について） ・学校再編の全体配置計画 ・渥美地域の中学校問題について ・泉中学校再編検討委員会の開催 ・校区意見交換会の開催 ・野田中学校の統合の状況
委員長	ありがとうございました。 説明が終わりました。御意見、御質問がございましたらお願いします。
委員	第2回目の学校見学会のときに福江中学校で、「泉中学校は伊良湖岬中学校と一緒に じゃなくてもいいかな」と言ったと思いますが、それはどういうことですか。
事務局	最初の意見交換会のときに、保護者の意見としても「統合するなら、伊良湖岬中学 校と同じタイミングと一緒に動きたい」という方が多かったので、そういう方針、考 え方で進めていくことに変わりはないです。

委員	後から考えるということではなく、伊良湖岬中学校の統合時期に泉中学校も一緒に統合するということですか。
事務局	はい、そういうことです。まず、伊良湖岬中学校と同じ時期に統合を考えていくということで、この泉中学校再編検討委員会も伊良湖岬中学校の統合検討委員会と同じタイミングで進めております。
委員	伊良湖岬中学校の統合と同じ時期に、泉中学校の統合を一緒に考えてもらえないのかなと思いました。
事務局	泉中学校の統合を伊良湖岬中学校の統合の時期と一緒に考えないというわけではなくて、同時に行う方向で今進めています。伊良湖岬中学校の統合検討委員会と同じようなタイミングで泉中学校再編検討委員会も行っていますし、校区の意見交換会も同じ時期にやっっていこうと思っています。
委員	最後、大きな3、渥美地域の中学校問題について、渥美8校区の人が渥美に1つ大きな中学校をと市に要望している。当初、私たちは30年も先とか、もっと先の話だと思っていた。目鼻も全然つかないような感じの雰囲気だったのですけれども、ここを読むと「15年先頃を目途」と書いてあります。
事務局	資料1の3、渥美地域の中学校問題について、「渥美8校区からの要望のとおり、(中略)15年先頃を目途にこの要望による渥美地域の新設中学校について検討したい」とありますのは、今から5年後に伊良湖岬小学校の建設を進め、平成32年度を目標につくるようにします。その後、改修が必要な学校がありますので、そうすると、早くても15年後ぐらいになります。
事務局	ここには「15年先頃を目途」と書いてありますが、新設中学校につきましては、まだ全く白紙の状態です。現実問題として、それ以降になる可能性のほうが高いです。 当面の予定では、まずは伊良湖岬小学校の校舎を平成32年度までにつくりたい。その後、童浦小学校が老朽化していますので、これをやっっていかなければいけない。それも5年ぐらいかかります。そうすると、少なくともそれよりも後になってきます。その後の計画はまだないものですから、もし新設中学校を検討するなら、まだまだこれから検討していくものです。
委員	人数が少なくなると統合しなくてはならないとか、まず、グループでチームを組んで部活ができないなどで、あっちへ行ったり、こっちへ行ったりというような感じで寄せ集められていくと思う。そうなってくるとマイナス面が当然出てきて、ほかの地区に比べて渥美地域がそういうことにさらされていくのではないかという気がする。渥美地域の今の状況からすると、新設の渥美中学校は早急に考えてほしい問題だと思います。
事務局	要するに新設中学校を早目に検討してほしいという御意見ですか。
委員	そういうことです。皆さん、大分苦勞していらっしゃる。
事務局	まだ白紙ですけれども、今後、それも踏まえて少し考えていきたいと思っております。ただ、当面は泉中学校をどんな形で統合させていくかということ、まず検討していただくということをお願いしたいと思います。

委員	<p>福江中学校と赤羽根中学校の学校見学に行かせていただきました。その中で、両校の受け入れ方が本当に違いました。</p> <p>赤羽根中学校では、こんな形でやっているからぜひ来てくださいという雰囲気がありました。だけど、福江中学校では、来るなら来てください。うちはそれなりのことをしますからという雰囲気がありまして、赤羽根中学校のほうが、泉中学校も、伊良湖岬中学校も全て受け入れますという、すごく温かい受け入れをしてくれました。</p>
事務局	<p>1つありますのが、福江中学校の場合は学校公開日が事前に決められていて、その中に伊良湖岬中学校の校区の方、泉中学校の校区の方も一緒に見学させていただきました。ただ、赤羽根中学校の場合は、学校公開日の中で調整ができなかったもので、こちらからお願いして、学校公開日をつくってもらったものですから、そういう対応になったと思われまます。</p>
委員	<p>私は福江中学校と赤羽中学校の両方の見学に行きましたけれども、福江中学校は、自分で見学してくださいというふうでした。でも、赤羽根中学校では1人教員がついて説明をしてくれました。</p>
委員長	<p>最初のスタンスが違います。</p> <p>福江中学校の場合は、清田地区と福江地区の父兄の学校見学会に私たちが参加しただけです。赤羽根中学校は、教育委員会から時間をとっていただくように依頼してありましたので、受け取り方が違ってくるのではないかと思います。</p> <p>福江中学校では、清田地区、福江地区の父兄の参観日にあわせて開催したので、手いっぱい先生方の丁寧な説明はなかったということです。</p>
委員	<p>学校見学に行ったときに、福江中学校と赤羽根中学校で対応が違うと勝手に思ったものですからすみませんでした。</p>
委員長	<p>そのほかございませんか。</p> <p>きのう、校区コミュニティ協議会の広報誌「七つ山」の副会長の原稿で、福江中学校、赤羽根中学校の学校見学、授業参観をしたことが書かれていました。実際に泉保育園の保護者が学校見学会や授業参観のことを知らないでいると聞いたのですがどうですか。保育園の年中、年少の役員はいないのですか。</p>
委員	<p>役員は年長の母親でやっています。</p>
委員長	<p>いないのですね。組織として、年中、年少の保護者との意思疎通は余りできていないですよ。</p>
委員	<p>そうですね。役員だけで決め事をしてしています。</p>
委員長	<p>役員ではないから、私たちはよくわからないということですね。</p>
委員	<p>前回、小学校PTA、中学校PTA、保育園保護者の全員を対象にして意見を出す機会をつくってほしいと言ったのですけれどもどうですか。</p>
事務局	<p>11月2日の全戸配布でも案内予定ですが、校区意見交換会を11月17日（火）に開催予定です。保育園、小学校、中学校を通じても案内を配付予定です。ぜひ参加してください。</p>
委員長	<p>校区意見交換会の案内については、11月2日に回覧します。</p>

	そのほかございますか。
委員	<p>前回、中学校の授業参観をさせていただきました。私が思ったのは、参加された泉地域と伊良湖岬地域について、伊良湖岬地域の方は委員会、メンバー以外の親御さんがかなり見学へ来ていました。悲しいかな泉地域の場合は再編検討委員会の人に任せられて、委員会の人しか来なかったような気がします。私は本心としては、やはり子を持っている親御さんは、皆さんに声をかけていただいて、少しでも多くの人が見学に来てもらったらと期待をしていたのですけれども、残念です。</p>
委員長	そうですね。伊良湖岬地域の圧倒的人数から見ると、やはり残念だなと思いました。
委員	伊良湖岬地域は、統合がほとんど決定されているので、どちらにしようか真剣に考えなければいけないので、その違いかなと思います。
委員	<p>泉小学校の保護者が学校見学会に行けなかったのには理由があります。やはりみんな仕事もあり、なかなか休めない方がいます。伊良湖岬地域は農家の人が多くて、そういう対応ができるので、事務局に土日に学校の見学ができればいいとの話をしました。本当は泉地域の保護者も学校を見学したいだろうし、不安もあるだろうし、私も土曜日、日曜日でも開けたらどうかと聞かれたことはあります。</p> <p>できれば、この前も言ったように、土曜日でも日曜日でも、校舎の中に入らなくても、グラウンドからだけでも見させてくれれば、ちょっとでも雰囲気わかるのかなと思いました。</p>
委員長	<p>私が考えたのは、伊良湖岬地域はもう平成30年4月には統合になり、移転先を決めなければいけない。泉地域には、学校はある。立ち退かなくてもいい。したがって、返事をもう少し先延ばししても大丈夫かなと。もし統合するなら、平成30年4月に一緒に統合してもいいんですが、「今年度中に結論を出さなくても大丈夫」というように、学校見学会の人数の差から見ると保護者に安心感があるのではないかと感じております。</p>
委員	<p>話が戻るようですが、いいですか。蒸し返すようで申し訳ないですけども、どういう経緯で伊良湖岬中学校と同じ時期に統合先を決めるとなったんですか。別に普通に考えても、一緒じゃなくてもいいじゃないかと思う。</p>
事務局	<p>1年前、泉地域の保育園、小学校、中学校の保護者の方々と意見交換会を開催したときに、「伊良湖岬中学校が統合先を決めるなら一緒にタイミングがいい」という意見が多かったものですから、今回、第1回目の泉地域再編検討委員会の中でそのような提案をし、皆さん方から了承をいただいたものですから、ことし中に決めるとなりました。</p> <p>ですから、この会の中で、結論は今年度中ではなくて、もう少し延ばしましょうという話になれば、それはそれで結構です。</p> <p>ただし、役員さん方は、1年で交替されてしまうので、皆さん方が来年度まで引き続き会合を開いていただければいいのですが、PTA、自治会の方々も、これで役がかわってしまいます。そうすると次の新しい役員の方、またゼロからスタートになってしまう。それはまた同じことになって、そういった話ができなくなってしまうので、</p>

	<p>何とか今年度中に結論が出たらいいなという気はしております。</p> <p>ただ、伊良湖岬中学校と同じタイミングで統合してほしいとは思っていません。皆さん方で統合時期を決めていただければ、例えば、伊良湖岬中の1年、2年後にしましょうといった意見になれば、それはそれで結構です。</p>
委員	<p>私は、1年、2年話し合っ、今年度中で決めるとの話が決まっていたと思って、第1回目には、皆さんから一人ずつ、忌憚のない意見や思いを言いました。まだ1年あるから、何でそんなに早急に決めなくてはならないのか、実際のところ合点がいかなかった。</p> <p>それで第1回目に、別の委員が「何も別にそんな早く決めなくてもいい」「伊良湖岬中学校は、小学校のために取り壊しになってなくなってしまうので決めざる得ない状況にあるけれども、泉中学校は校舎としては存続なので、学校を動かすのは1年や2年、まして我々1年限りの自治会長が、もしくはそのときの役員のPTAだけで決めるべき問題ではない。」と言っていた。ですから、それはすごく有力な目の開く意見だったです。</p> <p>教育委員会が出している統合についての第1回目の広報では、今年度に結論を出しますと書いてありました。私や別の委員が言った意見は、平成27年度いっぱい決めるという意見を覆すような意見だったので、教育委員会の広報に載っていなかったのが非常に残念です。それが載っていれば、「ちょっともめているではないか」というのが、地域の人たちでも問題意識が出たと思う。地域の方が広報を見ると、いかにもすんなりと話がとんとん行ってしまうという感じで、当事者でない方々は、「任せておけばいい」ということで、さほど考えてもくれないです。ああいうところで、あの一言は載せてほしかったです。</p>
事務局	<p>確かに、この会で統合先の決定をもう少し遅くすると結論になれば、それはそれで結構です。統合のタイミングも、平成30年ではなくて、平成32年、平成34年にするとの話になれば、それはそれでいいと思います。</p> <p>我々は、あくまで地元の意見を尊重するというのが前々からのスタンスですので、皆さん方がそのように決めていただければ結構です。</p>
委員	<p>たまたま今、再編ということですが、最初は今の校区総代さんが、ちょうど1年目に、野田中学校の統合の問題が出てきて、泉校区も少しは考えなければいけないではないかということで、学校を考える会を発足して、年に一、二回話し合いをしました。そのときもいろいろな意見が出ましたけれども、じゃあ誰が委員として出るのかということで、今言われたように自治会長さんは1年で終わってしまうので、考えがかなり変わっていくのではないかと意見が出ました。そのとき、できれば校区総代みたいに複年数やれる人も中にはいないと、全部メンバーが変わるたびに考えが変わっていったら、まとまりがつかないとの話はその当時出ていました。</p> <p>この三、四年でも、今資料を見れば、野田中学校が2、3年で統合を決定して、早かったです。僕らは、新聞の紙面に載って初めて知ったというのが事実で、後から、「泉校区にも泉中学校の学校統合の話があった」と聞きました。でもそのときは、「ま</p>

	<p>だ泉校区は統合しなくていい」とのことで話をそこでとめてしまったという話も聞きました。やはりこれだけ問題になってくると、今言われように、急がなくても、ゆっくりでもいいので、もっとよく考えていただきたい。泉校区でも1学年20人台の生徒がいます。それぐらいだと、何とか生徒の運動にしても、部活は少ないにしても、できると思いますが、最終的には子供の問題なので、子供のために考えてやるべきだと思います。</p> <p>それから当然、親御さんはそれなりに子供のために思って、みんなの考えが1つになるのは、僕はまず無理だと思う。家庭の中でも多分もめると思います。子供の考え、親の考え、その辺を含めると最終的にこういう委員会の中でまとめて、中にはその意見に反対する人もいると思いますけれども、これはもう全て100%は非常に難しいと思いますので、今度11月17日の話し合いで意見を聞いて、この泉中学校再編検討委員会の中でまとめていただくのがいいではないかと思います。</p> <p>「統合する、統合しない」、「これからもう少し様子を見る」など、いろいろ意見が出ると思うので、これはしっかりみんなで考えていくべきだと私は思います。</p>
委員	私は素敵な意見をいただいて、すごくよかったですと思います。ありがとうございます。
委員長	<p>平成26年10月に開催した泉校区の第3回学校を考える会の主な意見として「泉中学校の再編は、岬中学校の統合と同時進行で方向性を決めていきたい」と表現されている。それは、学校を考える会で全戸のアンケートをとりました。その結果、「伊良湖岬中学校と同時に統合したい」との意見が半数以上で圧倒的に多かったんです。というのは編入合併なりをやっていくと、市と同じようで、渥美町が後から編入合併になった。「統合するなら岬中学校と一緒にのほうがいい」という全戸アンケートの結果から、教育委員会も同時進行ということで進めています。我々校区の全戸アンケートの結果が、ある程度ここに反映されていると思います。</p> <p>そのほか何か意見ありますか。よろしいですか。</p> <p>次に移りたいと思います。</p> <p>では、2、地震津波及び防災対策について。福江中学校、赤羽根中学校の周辺の地震津波防災対策について、森下防災対策課長から説明をお願いします。</p>
森下防災対策課長	<p>では皆さん、こんばんは。防災対策課長の森下と申します。</p> <p>私から、防災の関係、特に南海トラフ地震が起きた場合、どのようになるかというようなことで、防災マップをもとに説明させていただきます。</p> <p>こちらは愛知県が昨年、南海トラフについて詳細結果を出したものを反映させてございます。今考えられる最大値で記載がしてございます。両面のうち、西側をごらんいただきたいと思います。</p> <p>南海トラフの最大の規模で地震が発生した場合、津波が発生した場合、ブルーの部分が、1センチ以上の浸水があるところです。</p> <p>それから、クリーム色で書いてあるところでございますけれども、ここについては想定では浸水はしない。ただし、地域の皆さんと話をし、それぞれの自治会さん等が自主的に避難を呼びかけているところがございます。</p>

	<p>それで、統合の候補として上がっております福江中学校と赤羽根中学校ですけれども、ごらんいただきますとおわかりいただけますように、どちらも色はついてございません。白いエリアでございます。</p> <p>津波高は、赤羽根周辺では最大で 14 メートルぐらい。福江中学校周辺では海岸で最大 4 メートルぐらいでございます。内陸に入ってくると徐々に下がっていきます。それぞれの標高、例えば、福江中学校へ行きますと、高さは 6.1 メートル、赤羽根については 22.6 メートルぐらいあるということです。いずれにしても、こちらの両学校について浸水は考えられないということで御理解いただければと思っております。</p> <p>あと、伊良湖岬中学校の統合検討委員会でお話が出たんですけれども、西ノ浜に渥美火力発電所があり、万が一この重油タンクが延焼したら大丈夫かとの話もいただきました。コンビナートが燃えた場合についても検討されておりまして、その場合、やはり熱が来る距離としては、500 メートルぐらいは影響が出るということです。ただ、ごらんいただきますと、500 メートルというと、本当にまだ農地のところで終わってしまうということで、実際には小中山保育園のところでも熱の影響はないということです。万が一そういった部分で延焼があった場合も、中学校への影響は全然ないとお考えいただいて大丈夫だと思います。</p> <p>あと、例えば通学する際、一部ブルーの部分を通ったりすることもあると思っておりますけれども、浸水域をずっと通るわけでもございませんので、それについても、警報が出た場合には、高いほうへ移動していただくことは十分可能かなと思っております。</p> <p>私からは以上とさせていただきます。</p>
委員長	<p>説明が終わりました。御意見、御質問等があったらお願いします。</p> <p>御意見もないようですので、お忙しいところありがとうございました。</p>
森下防災対策課長	<p>防災マップには、注釈がございます。各御家庭にも配布させていただいておりますので、ごらんいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>泉市民館は、安政の大地震のときでも、堤防はなくても 30 センチしか津波は来なかったから地盤は固いから大丈夫ですよ。</p>
森下防災対策課長	<p>やはり三河湾ですので、太平洋側と比べると、随分津波高は低くなります。あと津波の到達時間、太平洋側であれば 10 分、15 分という時間で第一波が来ますけれども、三河湾側については、1 時間とか、そういう単位になりますので、随分そのあたりでも感覚としては違ってくると思います。</p>
委員長	<p>それでは、次は 3 班に分かれて意見交換を行います。</p> <p>1 つの班が六、七人で、職員も一緒に忌憚のない意見交換ができればと思います。</p>
事務局	<p>3 グループに分かれて 20 分ぐらい意見交換会を行います。その後、グループごとに意見をまとめて、職員が発表します。よろしく願いいたします。</p>
	<p>(3 班に分かれ、職員の進行で意見交換)</p>
委員長	<p>それでは、多くの意見が出されたようです。この意見をもとに、11 月 17 日に開催予定の説明会で、この会の意見として参考にするなどしていきたいと思っております。</p> <p>また、再編の方向性をそれぞれで考えていただきたいと思っております。</p>

事務局	それぞれのグループで出た意見について、報告させていただきます。
事務局	<p>第1班で出た意見を報告させていただきます。</p> <p>うまくまとめられなくて申し訳ないですが、初めに出た意見が、この会に出られている方は1年でかわってしまうことが多いので、なかなか話を深めていくのが難しい。そういった難しさがあるということが話題になりました。</p> <p>次に、意見を聞くときには、やはり女の人、お母さん方が子供と携わっていることが多いので、できるだけそういった人の意見を聞く機会が多くなるとよいのではないかと。子供本人の意見も、ぜひ聞いたらどうだという意見も出ました。</p> <p>それから全体の場でも出ていましたけれども、土日の見学を何とか企画できないだろうか。できるだけ実際の学校の見学をできるといいとの意見が出ました。</p> <p>それから子供たち自身が赤羽根中学校、福江中学校のうわさを気にしている部分がある。福江中学校はどうも怖いではないかというようなうわさがあり、それに対して、もしかしたら親御さんがそれを言っているのではないのかというような、子供本人というよりは親御さんのほうから、そういったイメージを持っていて、子供のほうに伝わっている部分もあるのではないかとこの意見も出ました。</p> <p>かつて、福江中学校も赤羽根中学校も何年か前に荒れた時期がございました。ちょうどそのころ中学生だった方たちが、今親御さんになってみえる。そのときのイメージがやはり強いのではないかという意見も出ました。</p> <p>次に、実際に通学する場合について話題になりました。赤羽根中学校へ行くときは、八王子を過ぎるとひと気がなくて、夕方はすぐ暗くなってしまって、自転車だとやはり心配である。教育委員会からは、実際にはどちらに行くにしてもスクールバスを考えているということで、その辺は心配ないということで話題になりました。</p> <p>それから渥美中学校がもし早目にできるなら、そのときに一度に伊良湖岬中学校も泉中学校を合わさって統合するのが、やはりよいのではないかとこのことが改めて出ました。</p> <p>防災関係では、福江中学校の場所が津波の心配はないということが、きょうよくわかったので、福江中学校に行く場合も津波の心配はないのではないかと。ただ、保護者と一般の方はそのことを余り知らないので、イメージとして、やはり福江中学校は防災面でも危ないのではないかと思ってみえる方が恐らくいる。その辺の広報もやっつけていかないといけないのかなということが出ました。</p> <p>それから教室のキャパのことで話題になりました。福江中学校は、泉中学校と伊良湖岬中学校がもし両方行ったとしても、教室のキャパは十分に足りております。赤羽根中学校は、両校が行くと足りなくなりますので、その場合はもちろん増設する必要があります。</p> <p>いずれにしても、対応はどちらになってもきちんとすると教育委員会からお答えさせていただきました。</p> <p>以上のような意見が出ました。</p>
委員長	ありがとうございました。

事務局	<p>それでは第2班から報告させていただきます。出た意見を述べさせていただきます。</p> <p>まず赤羽根中学校の校舎が新しいので、赤羽根中学校のほうがよいではないかという意見もありました。それから通学手段をしっかりと確保できれば、どちらでもよいとの意見もありました。</p> <p>次に、11月17日の泉校区意見交換会の意見でどうなるかわからないので、それを待ってからだという意見もありました。先ほども出ましたが、実際に福江中学校や赤羽根中学校に行ったら、具体的な内容、例えばスクールバス、自転車で行く場合の通学路、特に八王子から向こうへ行ったところでは、福江中学校に行くところでも街灯が少ないので、自転車通学では怖いとの意見がありました。</p> <p>そのほかスクールバスの時間も気にしており、部活に合わせてくれるのかという具体的な心配もありました。</p> <p>父兄の意見は半々ぐらいで、1つにまとめるのはなかなか難しいではないかという意見もありました。それと、どちらでもよいから統合する時期は伊良湖岬中学校と同じ時期にしてほしい。というのは、先に伊良湖岬中学校が入って後から泉中学校が入ると、いじめとかが不安だという意見もありました。</p> <p>防災マップから見ると、位置が高い赤羽根中学校のほうがいいとの意見もありました。福江中学校へ行くと、逆に伊川津の一部を通らなければいけないので心配だという意見もありました。</p> <p>それと地震がいつ来るかわからないと言われていいるときに、新中学校の問題がありますが、15年は長いので、待ってられないなという意見もありました。</p> <p>それと子供目線で考えてほしい。一応、現状だと部活が少ないので、部活の選択肢が少ない中で無理やり行っているという事例もあるので、なるべく早目にそういう面も考えてやってほしいという意見もありました。</p> <p>福江中学校の知り合いが多いという親の意見もありました。先ほども1班から出ていましたが、やはりうわさが先行している部分があるのではないかとの意見もありました。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。それでは、3班お願いします。</p>
事務局	<p>では、第3班から報告させていただきます。</p> <p>少人数でもよい、寺子屋の感じの学校も悪くはないではないかと。焦らなくてもよいのだったら、今のままでもよいと思う。ただ、部活動などは少ないとやりにくいこともあるという意見がありました。</p> <p>今は、保育園、小学校、中学校とよい環境で泉校区は運営されている。ぬるま湯と言われることもありますが、よい環境だと思うという意見がありました。</p> <p>結論ありきではなくて、もうちょっと意見をよく聞いてほしい。</p> <p>もう決まっているように感じるという意見もありました。</p> <p>野田が統合した後、通学や部活動の状況を見てから判断したいという御意見がありました。</p>

	<p>泉中学校がどこの学校に統合するにしても、行った先に合わせるようになるのかなという御意見も出ておりました。</p> <p>泉中学校と伊良湖岬中学校が同じ時期に統合しなくても、子供たちは困らないではないかなという意見も出ております。</p> <p>あと、今の子供たちの問題だけではなくて、将来のずっと続く問題なので、もっと慎重に考えていったほうが良いという意見が出ておりました。</p> <p>3班からは以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは事務局、その他、何か意見はございますか。よろしいですか。</p>
事務局	<p>特にございません。</p>
委員長	<p>それではないようですので、本日の協議事項は全て終了しました。</p> <p>以上をもちまして、第2回の会議を終了いたします。</p> <p>お忙しい中、ありがとうございました。</p>